

**最近**、日本においても、かなりクラウドファンディングが浸透して来ましたが、ご存知だとは思いますが、敢えて解説を加えますと、クラウドファンディング（Crowdfunding）とは、不特定多数の人が、あるプロジェクトに対して、インターネット経由で財源の提供や協力などを行うことを指します。群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語です。不特定多数の人に比較的少額の資金提供を呼びかけ、一定額が集まった時点でプロジェクトを実行することで、資金調達のリスクを低減することが可能になるわけです。こればかりでなく、企業が多く投資家から株式を募集することによる資金調達の手法としても注目されています。インターネットで検索すれば、様々なクラウドファンディングサイトを見つけたことが出来ます。因みに、国内最大で資金調達額もNo.1とされているのが「Makuake」というサイトです。そんなクラウドファンディングから生まれた商品をひとつご紹介致します。写真左下のUFOみたいなモノ。写真ではちょっと分かりにくいですが、これは浮遊しながら回転し、光を放つBluetoothスピーカー「LEVI SOUND」と言います。クラウドファンディングのプロジェクトから誕生した商品です。当初の目標金額は100万円でしたが、圧倒的な支援を受け、総額が2,700万円を超えて無事開発できた商品です。今年の1月末から支援者に商品の発送が開始されました。先進のリニア・テクノロジーを駆使し、コンピューター制御により、空中に浮揚、バランスを保ちながら回転し続けます。空気抵抗しか受けないので、一度回転力を与えると長い間止まりません。また、最新のBluetooth4.1を採用し、音声到達距離は、障害物がない場所で10メートル。休日や仕事の合間、または夜、部屋を暗くしてお酒を飲みながら「LEVI SOUND」で音楽を聴いていると心が和む至福のひと時が得られます。この商品をクラウドファンディングを利用して開発したチームは、音楽が好きな会社員や自営業者が集まってできた4人の中年おじさん達です。夢があつていいですよ。因みに、このクラウドファンディングは、「GREEN FUNDING by T-SITE」という、CCC（TSUTAYA）グループのプラットフォームを活用したファンドで、資金調達にとどまらず、マーケティング支援も行ってくれます。出版（写真集・絵本など）・CD・DVDなどのエンタメ系をはじめ、ガジェット・フード・スポーツ・社会貢献など多数のプロジェクトのサポートをしています。

次にご紹介するモノはクラウドファンディングとは関係ありません（写真中央）。このカタチを見て何物なのか、直ぐにお分かりなる方は、まずいらっしやらないと思います。答えは、その隣にあるグラスの中にあります。2.5インチの球状のアイスボールを作る製氷機なんです。日本では市販されていないICEBIRG社（アメリカ）製の輸入品です。3年以上の研究開発で完成したこの製氷機で作った氷は、濁りがなく透明で真ん丸、初めて見ると感動します！パーティーが、アイスピックで削った丸い氷も良いですが、きれいに透き通った完全球体の氷は一見の価値があります。一般に市販されている球状のプラスチック製氷器に水を入れて作る簡易のアイスボールとは全く違います。この球状の氷は、通常のロックアイスと比較して溶けるスピードが遅くなるため、オン・ザ・ロックを飲むには最適の氷です。

と言うわけで、そんな美しいアイスボールのロックが、バカラ（Baccarat）グラスでリッチな気分が飲めるBAR\*が日本に1軒だけあります。なんと！！その店は弊社の元社員が開店したお店なんです。そこで今回は特別に、本誌（adtain）を持って行くと、生ビール or グラスワイン1杯を無料サービスしてもらえることになりました。是非、お仕事の帰りにお立ち寄り下さい！ゴルフ好きな女性パーティーがおもてなしする落ち着いた雰囲気のお店で、女性ひとりでも安心してくつろげます。何卒、皆さまのご支援を宜しくお願い致します！

Wireless Air speaker  
LEVI SOUND (レビ サウンド)  
※現在は Amazon でも購入可能です。

※「BAR Chip In」新宿区荒木町8 電話：03-5357-7878 18:00~24:00（日曜・祝祭日定休）

※おそらくここだけです。何故かという、パーティーに腕があれば必要のない機械だからです（笑）

動画映像はコチラ

**T O M O K O O ' S R E C O M M E N D**

2017年1月8日から寺田倉庫で開催しているデヴィッド・ボウイ大回顧展『DAVID BOWIE is』へ行って来ました。2013年に英国の芸術とデザインの殿堂、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館で開催されて以来、世界9都市を巡回し、約150万人を動員。そしてアジア唯一の開催地となったのが日本。この壮大なスケールの回顧展には、デヴィッド・ボウイのキャリアを網羅する300点以上の貴重なアイテムが集められています。開催日後半でも混んでいたのに、じっくり鑑賞する事が出来ずとも最低3時間は掛かる凄まじい情報量でした。入場時に貸し出されるヘッドホンをつけ、ボウイの生い立ちから、音楽、映像、歌詞、文学、ファッション、舞台などのカテゴリーに配置された該当エリアに行くと、映像やオブジェや文章とリンクしたボウイの声や歌が流れます。山本寛亮のあの有名な衣装や、足の長さやウエストの細さに驚愕する斬新で鮮やかな衣装の数々は見応えがありました。ボウイの遺した作品は非常に強烈で、彼が別人格を作り出したように、ひとりの人生を見ている気がしませんでした。見終わった時の満足感と同時に襲われた虚無感は、彼の音楽を聞く度にずっと続いていくのだと思う。因みに、My Favorite Bowie's Songは、「Space Oddity」と「Moonage Daydream」ですが皆様の好き曲はなんですか？◎

DAVID BOWIE IS A JOY FOREVER

ご意見・ご感想は [adtain@adproject.co.jp](mailto:adtain@adproject.co.jp) まで メールでお寄せください。  
発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4 [www.adproject.co.jp](http://www.adproject.co.jp)

皆様の いいね！ をお待ちしております。

facebook adproject

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

2017 vol.059 **4**

**Legend**

**企画構想力**

ゼネラルプロデューサー 檜垣 俊幸

企画力を上げるには、奇想天外な妄想力が必要になってきます。そしてその資質を維持する為には、センスという極めて先進性に満ちた感性を上げる事で情報の受容性を上げる事が出来ます。また、人々は個々が体験した事や、その想像の領域の範囲で理解します。そして、マーケティングという課題命題の回答として、企画選抜の正解が提案されます。そこには「トンカツ豆腐」や「空飛扇風機」などは、左脳教育では生まれていません。それは、情報加工から生まれてくる創造社会でしかありません。しかし、それは情報整理に時間がかかり、ワークという悲惨な時間が費やされます。一方、右脳快樂企画法では、これまでと異なり、思い付きと呼ばれる妄想力の領域で有り、過去に体験した事のない「新価値」を生み出します。adproject は「明るく、楽しく、生きる人々」の為の、ライフ・エンターテイメント創造集団として、気ままに、気軽に、楽しく、明るく、妄想を大切に「優しい星」をめざして生きてゆきます。

2017年4月

EDGE Positive mind

adproject entertain Newspaper

adtain

モデル：Miyo Sara / Height:172cm B:90 W:67 H:93  
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

**adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌**

**■創造の為の「妄想と破壊」**  
生物は経験や学習を重ねる事で思考回路とイメージを、核とした形式化された企画の中から選び出します。まず、左脳優先のコンセプト出しに走ります。しかし右脳優先思考は、音楽や絵画やビジュアルで思考します。音楽で考える事も十分に可能な思考能力です。それは、バランスのとれた思考であり、名作、名曲なのです。これまでの企画は、考えるプロダクト・システムですが、音楽の様な作曲システムは、感じるが主体のシステムです。そこには、調和とリズムとパッションが挿入され見事な作品性を生み出します。そして、作品性の強い企画であればある程、様々なセッションが可能になり、付加価値が生まれます。それは、まるで、ドラマの脚本を書く様な未知への喜びがあります。そして、様々な力によって「演出要素」が加わり、より鮮明で印象的で喜怒哀楽を感じられる作品になります。企画も同じです。これらの、要素がしっかり構成された企画が、良い企画と呼ばれるものです。私は、仕事として依頼される時に、クライアントとの人間的信頼を大切に、任せてくれる事を条件としてしか企画や脚本は受けません。それは、右脳思考で企画や脚本作業を行うからです。ad右脳思考企画を誇りに伝授していきましょう。

**■企画に夢を持たせる妄想力**  
企画は、これから実施されるものです。そこには夢と不安があります。その手書きとして、奇想天外な発想が大切です。新しく実施される事に期待を持たせる技術や演出が必須になります。考える事より、感じる事を大切にしたい企画の醍醐味は、涙と笑いに包まれた魅惑を感じる作品を創出することです。さらに企画の魅力を感じる為にブランド化することが大切です。それはユニークな製品保証に繋がるからです。これは、感じるブランドのホスピタリティでもあります。昭和のブランド戦略には感じない戦略で限界がありました。それは商品とブランドに夢のある妄想力がないからです。adprojectは、夢のある感性型のブランド・ワールドを妄想します。私達は、この星を明るく、楽しく、優しい妄想星にする為に、妄想の素晴らしさを展開し、妄想民族の育成に努めて参ります。

**■妄想委員会の在り方**  
妄想族が登場します。妄想君が登場します。開発コンセプトの妄想が各分野に登場します。妄想記念日が制定されます。妄想大賞が決まります。妄想戦争が始まります。妄想学園を創設します。



# Project 1.

ASSOCIATE PRODUCER：黒川和紀

■Title：住みよい街だと思ってましたが1位でした。

買って住みたい街はどこですか？ 住宅情報サイト「HOME'S」(運営：ネクスト)に掲載された物件のうち、問い合わせの多かった首都圏の駅名を集計したところ、JR 総武線や東武野田線が乗り入れる「船橋」が1位であることが分かった。「近くには『京成船橋』もあり、多くの通勤・通学客に利用されている千葉県内のターミナル駅だが、首都圏で都心から近郊に位置するエリア以外の駅が1位となったのはここ3年で初めて」(ネクスト)  
2位は「目黒」、以下「浦和」「戸塚」「柏」「流山おおたかの森」「津田沼」「町田」「三鷹」「大宮」と続いた。例年、東京都内の駅が多数を占める上位ランキング(20位)で、東京都が5駅、神奈川県が6駅、千葉県が5駅、埼玉県が4駅とエリアが分散する結果に。「近年、都内を中心に物件価格が上昇したため、都内へのダイレクトアクセスが可能で、交通利便性が確保された近郊エリアの順位が上昇したものと考えられる」(同社)  
船橋に住み初め10年になりますが、東京に住みたいという気持ちがほぼゼロになれそうです。お立ち寄りいただいた際におススメできるお店をご紹介します。打ち合わせなどでご利用ください。

- 焼き鳥「ばんから」  
船橋市本町2丁目2-7
- 江戸前寿司「おかめ寿司」  
船橋市本町4丁目37-1
- 手打ちそば「虎智庵」  
船橋市本町4丁目37-19
- 肉の匠「将泰庵」本店  
船橋市本町3丁目5-1
- ブルーカナリヤ  
船橋市本町4丁目16-3
- 八十郎商店  
船橋市本町4丁目16-3



# Project 3.

EXECUTIVE VICE PRESIDENT：横田 郁夫

■Event：お風呂が最高！  
■Place：日帰り天然温泉

仕事に追われほっと一息つきたい時は「お風呂」です。箱根や草津等の温泉ビッグネームでなくても、日帰り天然温泉で十分日頃の疲れを癒せます。今回は勝手に私の好きな温泉を紹介いたします。まずは千葉県印西牧の原にある「リスバ印西」。南国リゾート感満載で、お勤めはトロクコに乗せて熱い岩が出てくるゆったり広い岩盤浴スペースです。埼玉は温泉の宝庫。草加に今年オープンした大型施設「竜泉寺の湯」。14種類のお風呂と7つの岩盤浴があり、どこに入ろうか結構迷います。こちらの会社が「スーパー銭湯」と初めて名付けたらしく、また今では当たり前の炭酸泉を初めて導入したのもここらしいです。次は個性豊かな癒しの2つのお風呂です。どちらも館内の中心に庭園を配し、回遊型となっており和風の落ち着いたたたずまいがなんともたまりません。一つは関越道嵐山ICから10分程の「おがわ温泉花和楽の湯」。ここは露天風呂が大きく浅く、透き通った温泉はお肌つるつる。たしか土曜日には内風呂に地酒を一升ドクドク入れて酒風呂に変身。飲むこともでき、ほろ酔い気分してくれます。女性に大変人気があるお風呂です。もう一つは東武動物公園近くにある「雅楽の湯」。ゆったり時間が流れるように一日過ごせます。先日行った時は、午後には受付になんと50名以上の入場待ちがありもうびっくり。それもそのはず、日帰り温泉では由緒ある@nifty温泉年間ランキングで4年連続総合1位の超人気風呂でした。そしてやはり最後は山梨県の「ほつたらかしの湯」は外せません。温泉通にはたまらないひとつですね。甲府盆地一望で、またその後ろに見える富士山。もう最高。施設も古くサービスも適当。でも景色がその全てを補い、湯船に浸かりながら大パノラマを満喫させてくれます。でも一番は、家の近くの銭湯「梅の湯」。銭湯には珍しくサウナが無料で入れちゃいます。お風呂は最高！



Producer's column

## 驚異的に凄い全世界規模の ラリーイベント“Gumball 3000”

EXECUTIVE PRODUCER：岩澤はやと

皆さんは『Gumball 3000』って聞いたことがあるでしょうか？1999年に初めて開催され、現在まで毎年世界中の大都市で開催されている『7日間で3000mile(約4800km)を極めて豪華なスーパーカー120台が公道を走行するラグジュアリーな自動車ラリーイベント』で、欧米ではポップカルチャーを好む若者が憧れるライフスタイルブランドとして定着しているイベントなのです。何が凄いのか？まず出走するエントラントは世界的大企業のCEOや有名Musician、ハリウッド俳優、プロスポーツ選手などスーパーセレブが参加費数百万~千万を自ら払って7日間走るのです。右下の写真は、数十万人が見守る中でのスタートの様子。ラリーコースは毎年違うことも魅力の一つ。過去にはロス⇒サンディエゴ⇒ラスベガス⇒ジャンボチャーター機4台で車120台と参加者&関係者250名を空輸⇒平壤⇒北京の天安門広場でゴール！この信じられないイベントが来年2018年20周年を迎え、その記念すべき年はどうやら…ロンドン⇒アムステルダム⇒ミラノ⇒大阪⇒京都⇒箱根⇒東京!!を予定していると言う！2020年東京Olympicに向けて、日本を世界に向けてPRする絶好のチャンス！と当主催者は日本国の為にも東京Olympicの海外向けPRも含めた戦略で実現に向けて動いているとのこと。なんと！短距離100メートル走世界記録保持者であるウサマン・ボルト氏も近年参加している。

PRESIDENT：檜垣 俊吾

## あの熊本地震から一年

昨年の4月に発生した熊本地震からもう一年。あれから一年の間に、同地震の活動域を中心に九州で、揺れを感じないものも含め、地震が13万回発生しているという。震災関連死で亡くなられた方にご冥福をお祈りするとともに、今なお続く地震とともに現地で暮らす人々の気持を考えると胸が詰まる。昨年、地震から3週間後の5月9日より取材の仕事で益城町へ入ったが、その直前にGWで多くのボランティアが全国から集まり現地入りしたこともあり、目に見えるライフラインは思ったより復旧が進んでいた記憶がある。しかし、目に見えないケアは必要と感じた。特に子どもたち。余震が続く中、不安で夜中に吐いてしまったり、精神的に不安定で小学校に通えないといった状況を取材先の方々から聞いた。心のケアは誰でも出来ることではないと思うが、我々が出来ることもある。企業に対してイベントを熊本でやることを提案し、実行させること。精神的な安定を図ることを目的に、気分転換の機会として親子ともども楽しめるイベント開催をどんどんするべきだと思う。熊本でのイベントを提案すると、すぐに復興というワードが出てき、逆にそれが実行の障害となることがある。そして担当部署も違うなど難しい話になってくる。熊本でイベントを行う=復興という壁をなくして、もっともっと熊本で楽しいこと、ワクワクするを皆が出来るようにしたい。日本国内だけでなく、海外からも楽しいことが熊本に集まるよう、企業に向けてこれからも提案し続けたいと思います。

Tokyo Motorcycle Show 2017

弓狩 章裕 (第2プロジェクト)

## Project 4.

PRODUCER：岩下 信而

■Event：春のイベント祭り

■Date：2017年4月

■Place：小田原~宇宙~天王洲~さいたま新都心

今年も3月24日(金)~26日(日)に、東京ビッグサイトで開催された「東京モーターサイクルショー2017」の山城様ブースを制作しました。今回のブースは山城様とサインハウス様の共同出展で、1つのコマを2社で割ったブースを展開。ライダー専用設計のインナーブランドBODY REGULATORや歪みのない視界を目指して開発したEXTRA SHIELD、日本人の足型にフィットするEXUSTARブーツなどなど、バイクライフを盛り上げてくれる多数の商品を紹介。そして今回は、CR-1ブースを4階の会場で別出展。CR-1とは大切なバイクやヘルメットなど、ガラス被膜によって半永久的に守るコーティングになります。大切なバイクやヘルメットであればガラスコーティングする価値はあるんじゃないでしょうか…?!内容についても助手であるMCと田代先生、吉田先生による掛け合いのトークが行われ、より詳しく来場者の方に紹介することができて大盛況でした。



# Project 2.

PRODUCER：宮崎 詩子

■Event：ミュージカル「忍たま乱太郎」第8弾再演  
■Date：2017年6月17日~7月2日(東京)  
7月21日~7月23日(大阪)  
■Place：サンシャイン劇場/森ノ宮ピロティホール



©ミュージカル「忍たま乱太郎」製作委員会

つい先日、忍ミュ(※)8弾初演(1月)が終わったばかりと思っていたら、もう6月からの再演@サンシャイン劇場と大阪公演が目前に…。あっという間に、夏が来ます(汗)  
4月6日、7日には、品川プリンスホテル、クラブeXにて、メインキャラクターの五年生による「忍ミュ春のファン感謝祭」を実施しました。2000人以上のお客様と、トークイベント企画を行い、ゲストとして出演した7弾再演の六年生による、昨年秋の忍ミュコンサート「忍術学園学園祭」のDVDお渡し会で、大いに盛り上がりました。  
今年で8年目のミュージカル「忍たま乱太郎」、女性の感性にマッチしやすいといわれる2.5次元の世界は、奥が深く、理解を越えた先に結果が出ます。8弾初演の舞台は、嬉しいことに21公演すべてチケットは完売しました。また、年明けに放送していたNHKのニュースでも、一昨年の「2.5次元」舞台チケットの売り上げは、推計で約104億円、そこからさらに関連グッズやDVDの売り上げを含めると、更に市場は大きいとのこと。キャラクターに扮せずに開催した今回のファン感謝祭で、私は、「2次元の中の憧れ」が「動く(生きて)」ことが魅力である2.5次元の舞台は、さらに役者の魅力が加わり、相乗効果で未知の広がりを見せるのだな…と改めて感じました。  
最近、ファン心理に近づくべく、眠る前にアニメの忍たまを10分見るとを習慣とし、漫画を読み、DVDを見て、お風呂で忍ミュの歌をうたい、そろそろ心配されるレベルになってきましたが、常に偏らないアンテナを持っていよう、と思っている今日この頃です。  
※忍ミュ=ミュージカル「忍たま乱太郎」



# Project 4.

「騎士団長殺し」は、「穴」「珍しい名字の狂言回し」「美少女」という村上春樹おなじみモチーフが満載。赤塚不二夫の「夜の犬」、手塚治虫の「オムカエデゴンス」「ヒョウタンツギ」が登場した時のような安心感がある。ぼくは村上春樹作品を、ハードボイルドの作風の冒険小説として気楽に愛読しています。

さて今月は仕事のことを書こうと思った矢先、駅通りのポスターに吸い寄せられて「パッセンジャー」を観てしまった。120年かけて冬眠しながら宇宙飛行をしている5000名の中から、90年も早く目覚めてしまった、オーロラとジム。ふたりは、まるで神話のように人間の「業」のために、壮かつ苦悩に満ちたラブストーリーを展開するのであった。ご覧になった方に聞きたい、あの時のオーロラの選択と、あの時のジムの選択、あなたならどちらですか？それにしても、オーロラのジェニファー・ローレンスはチャミング。以前拙文でも触れた、2012年度のアカデミー授賞式で、自分で赤いドレスの裾をふんで、こけた女優です。そして宇宙が舞台といえば、やはりデビッド・ボウイ。この9日で終了した「大回顧展」は、時間が許せば、ゆうに半日は鑑賞できる充実したプログラム。詳しくは裏表紙の、経理根本朋子のレポートでどうぞ！因みに、My Favorite Bowie's Songは、「Starman」です。

恋人になる前のカップルは、「ラ・ラ・ランド」でぐっと距離を縮め、恋人同士は、「パッセンジャー」でお互いの価値観を高めてと、プロデューサーのおっさん(ぼく)が書いていたけど、(ここで息継ぎ)俺たち(少し間をあげ)どっちな？なんて口説き文句はいかがですか。春だぜ恋せよ、Boys & Girls！では次号、今月は同い年のケン・ワタナベの恥ずかしい、チュッチュでCiao!!

さいたま新都心でお待ちしております！

今年のクーンシティのGWの目玉は、今月スタート朝の連続テレビ小説「ひよっこ」に出演中の俳優沢村一樹さんのスペシャルトークショー。勿論観覧無料です。4月22日午後2時に、さいたま新都心でお待ちしております！